

2. 現況および課題の把握

(2) 現況確認

① 基礎データ

ア 滞在人口

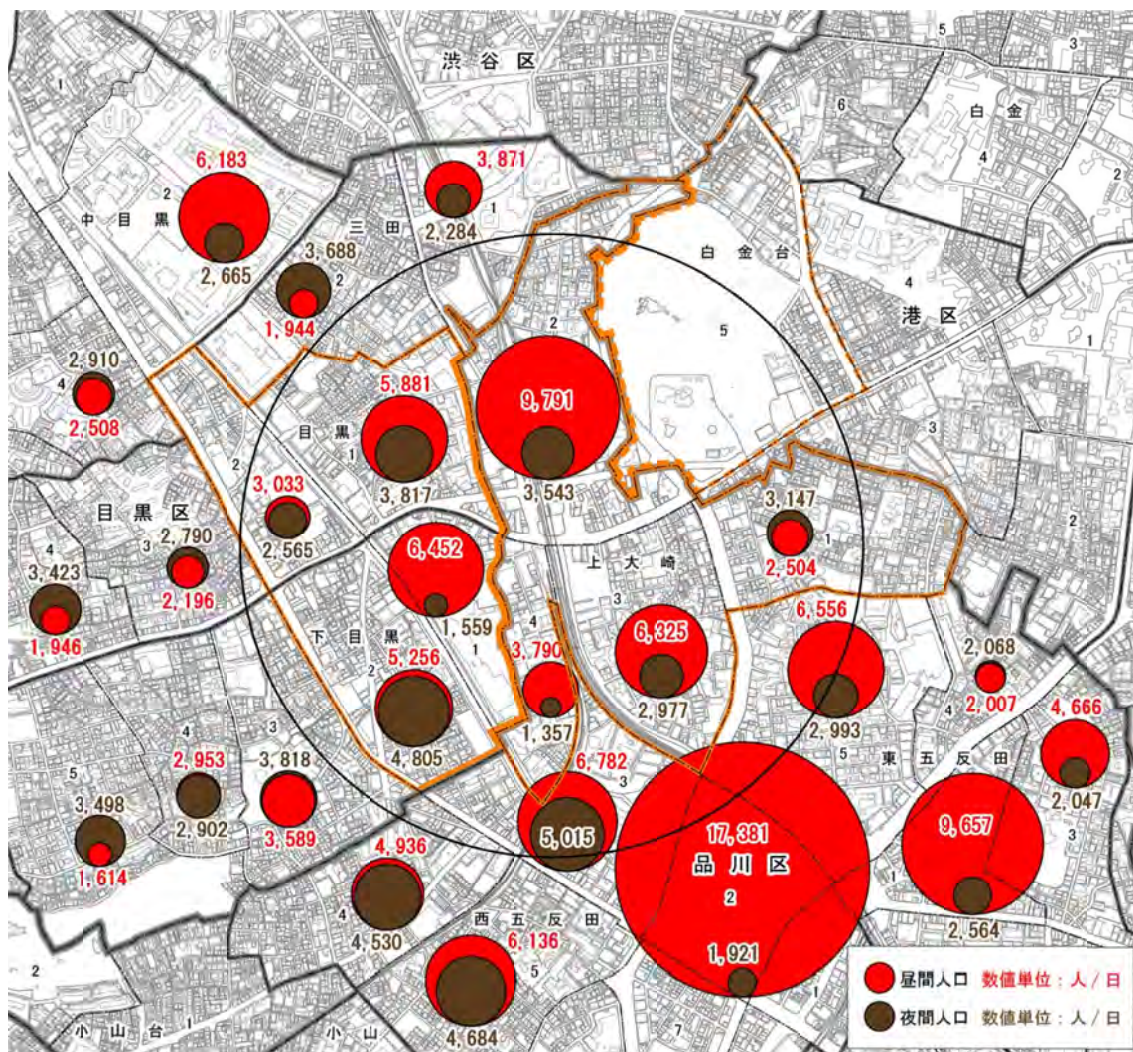
a. 昼間人口、夜間人口の比較

目黒駅周辺の町丁目の昼間人口と夜間人口は、以下のとおりである。

(特性)

- ・昼間人口は、駅北側の上大崎2丁目がもっとも多い。
- ・夜間人口は、町丁目ごとにばらつきが見られる。特に、上大崎4丁目や下目黒1丁目では、昼間人口との差が大きい。
- ・避難所は区民を対象としており、夜間人口をベースに計画が設定されている。
- ・夜間より日中に発災した場合、多くの滞留者や帰宅困難者が行き場を失うことが想定されるため、昼間人口が集中する駅周辺での対策が特に必要と考えられる。

図表 19 町丁目別昼間人口¹³および夜間人口¹⁴分布¹



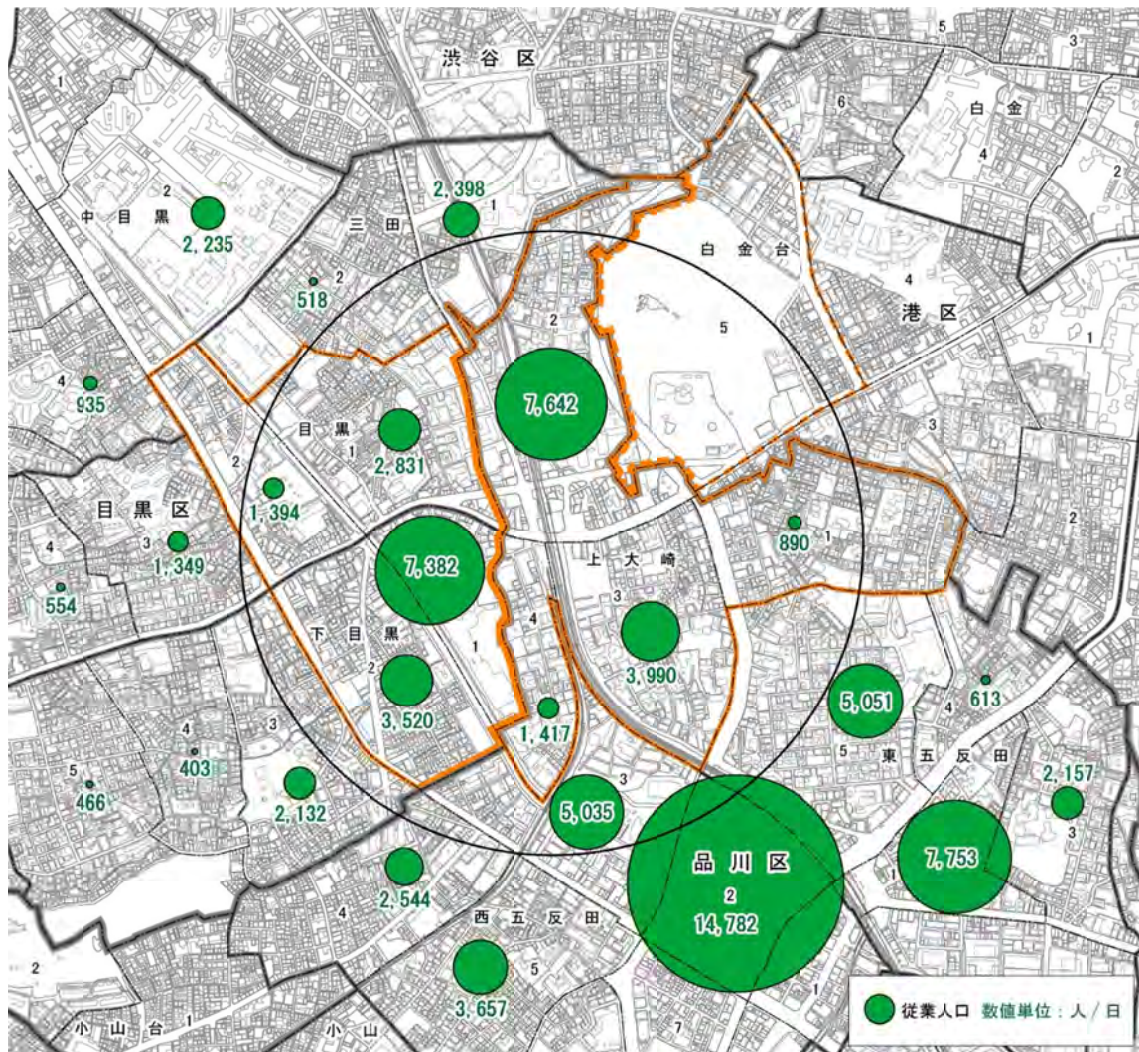
b. 従業人口の分布

目黒駅周辺地域における従業人口の分布は、以下のとおりである。

(特性)

- ・ 駅周辺の上大崎2丁目、下目黒1丁目に従業人口が集中している。
- ・ これらの従業人口が滞留者、帰宅困難者とならないよう、事業所による自助および共助の取り組みが求められる。

図表 20 町丁目別従業人口¹⁵分布¹



2. 現況および課題の把握

c. 来訪者数

災害発生時に調査対象地域を訪れている買い物客や観光客等の来訪者数の把握については、以下の統計を利用した。

東京都市圏内からの流入者については、最新の第5回平成20年東京都市圏パーソントリップ調査（調査時期：平成20年（2008年）10月～11月）を利用した。

東京都市圏外からの流入者については、首相官邸「まち・ひと・しごと創生本部」による「地域経済分析システム（RE S A S）」（平成27年4月21日より供用開始）¹⁶の情報を利用した。

【東京都市圏内からの流入者について】

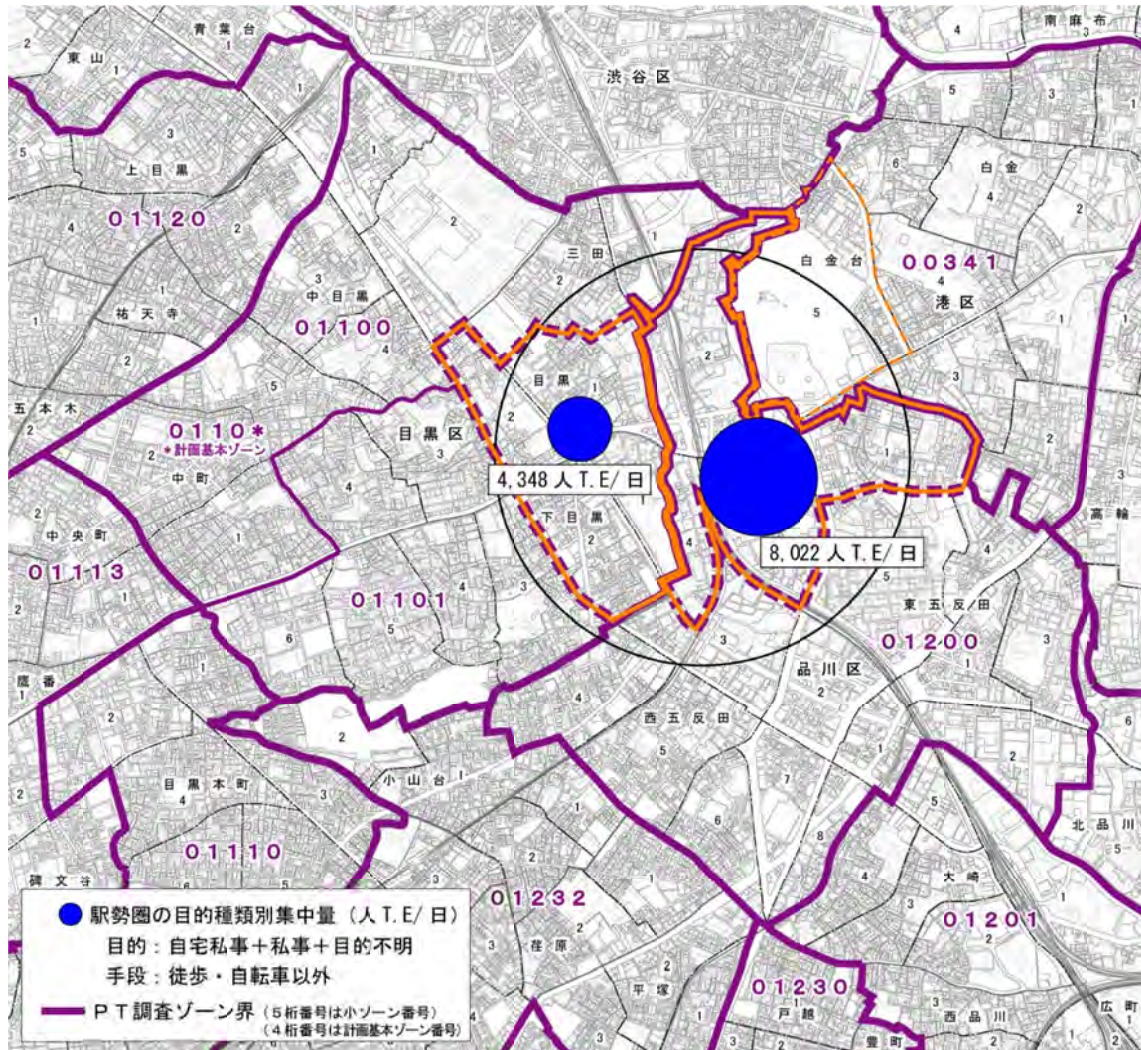
平成20年東京都市圏パーソントリップ（PT）調査¹⁷における、目黒駅周辺地域の着目的別集中量は以下のとおりである。PT調査ゾーンのうち目黒駅周辺地域の対象町丁目分の集中量を抽出するため、ゾーン全体の集中量を昼間人口比率で按分した。集中量のうち、着目的が「A自宅－私事」、「B私事」、「C不明」を流入者とした。なお、集中量の集計にあたって、代表交通手段が「徒歩・自転車」のものは、ゾーン内移動（＝流入者ではない）と考え除外している。

図表 21 目黒駅周辺地域における流入者数の整理

PT 調査 ゾーン	町丁目	着目的： 目的種類別集中量（人 T.E/日）									
		自宅－ 勤務	自宅－ 通学	自宅－ 業務	A 自宅－ 私事	帰宅	勤務・ 業務	B 私事	C 不明	計	A+B+C 流入者 計
目黒駅周辺地域											
01200 (一部)	上大崎1～4	13,066	1,040	894	2,108	4,209	3,889	3,647	403	29,256	6,158
0110 (一部)	目黒1～2 下目黒1～2	8,442	942	691	1,771	9,133	2,264	2,057	520	25,820	4,348
目黒駅周辺地域計		21,508	1,982	1,585	3,879	13,342	6,153	5,704	923	55,076	10,506
品川区計		271,353	24,477	18,468	34,905	179,777	74,857	64,111	9,773	677,721	108,789
目黒区計		82,821	28,621	9,676	36,160	140,751	27,032	44,923	7,041	377,025	88,124

以上より、目黒駅周辺地域における流入者の推計値は、計10,506人である。
 また、品川区全体に占める目黒駅周辺地域の流入者の割合は、
 $6,158 \div 108,789 = \text{約} 5.6605\%$ 、
 目黒区全体に占める目黒駅周辺地域の流入者の割合は、
 $4,348 \div 88,124 = \text{約} 4.9340\%$ である

図表 22 対象町丁目内のPT調査における集中量（流入者）¹



2. 現況および課題の把握

【東京都市圏外からの流入者について】

「地域経済分析システム（RESAS）」の「観光マップ」は、携帯電話の位置情報を利用して、人の移動を視覚化したものである。

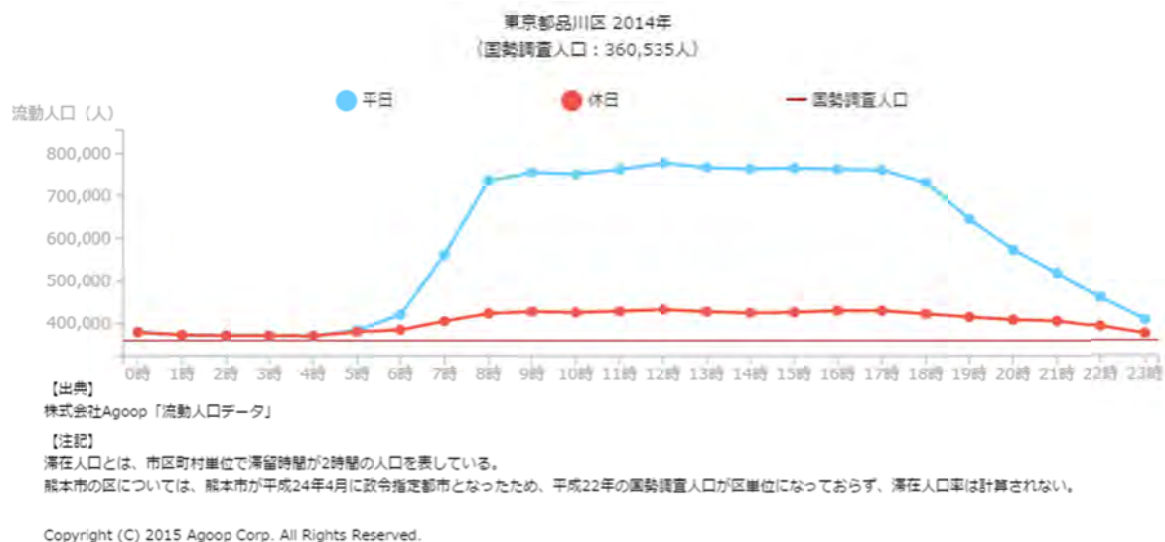
品川区内の滞在人口の時間別推移や出身地別滞在人口等のデータを用いて、東京都市圏外からの流入者について、以下のとおり整理した。

■品川区内の流入者

品川区内の滞在人口が最大となる時間帯は、以下のとおりである。

平日12時台：778,100人

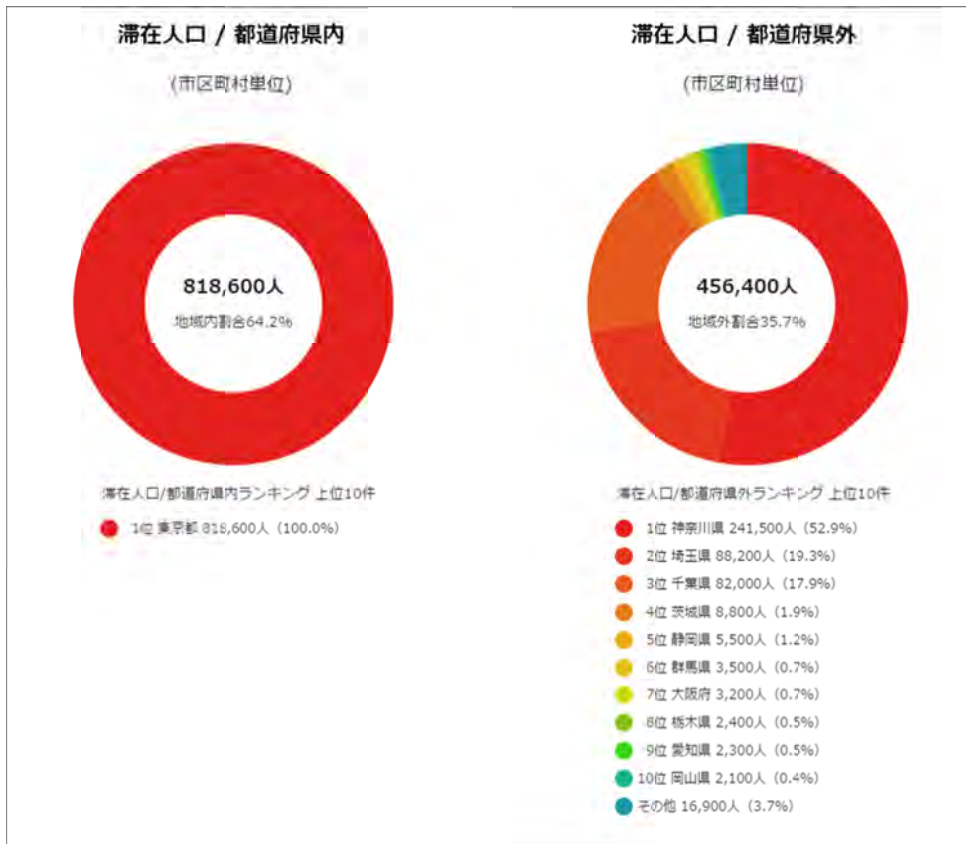
図表 23 品川区内滞在人口の時間別推移¹⁸



なお、「首都直下地震等における東京の被害想定」において、被害想定条件とされる平日18時台の滞在人口は731,300人である。

1日を通じての滞在者数（出身地別）は、以下のとおりである。

図表 24 出身地別滞在人口¹⁸



図表 25 品川区内における滞在人口の内訳

	在住地				
	都道府県内	都道府県外			
	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他 (東京都市圏外)
滞在人口	818,600人	241,500人	88,200人	82,000人	44,700人
計	818,600人	456,400人			
合計	1,275,000人 (1日延べ人数)				
東京都市圏外出身者が占める割合：44,700人 / 1,275,000人 = 約3.50588%					

以上により、平日12時台、品川区内における東京都市圏外からの流入者数は、以下のとおりである。

$$778,100人 \times 3.50588\% = 27,279人$$

目黒駅周辺に滞在する人の割合は、前項の品川区全体に占める目黒駅周辺地域の流入者数の割合（約5.6605%）を用いると1,544人となる。

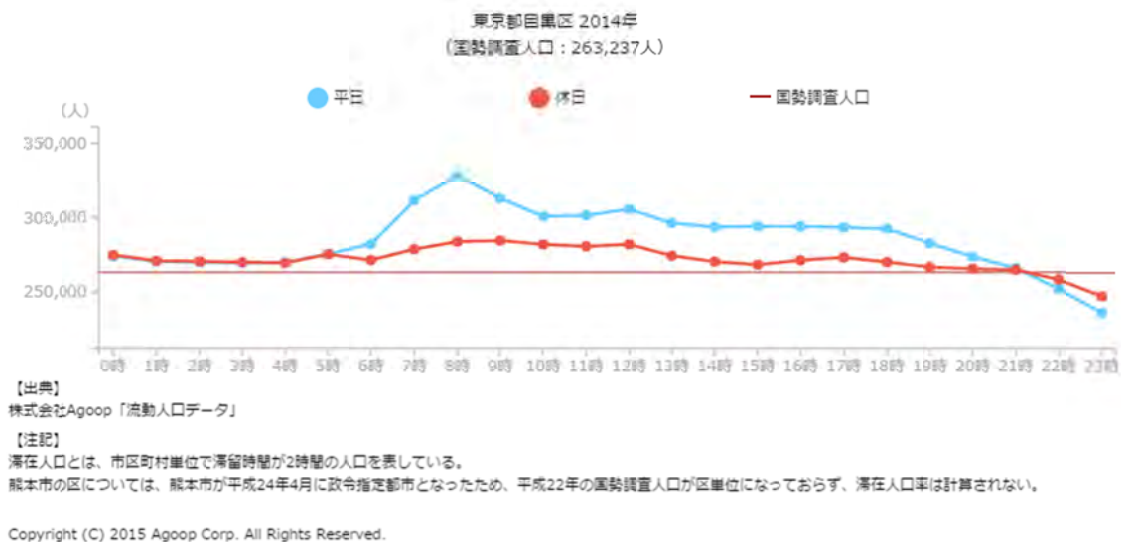
2. 現況および課題の把握

■目黒区内の流入者

目黒区内の滞在人口が最大となる時間帯は、以下のとおりである。

平日8時台：328,300人

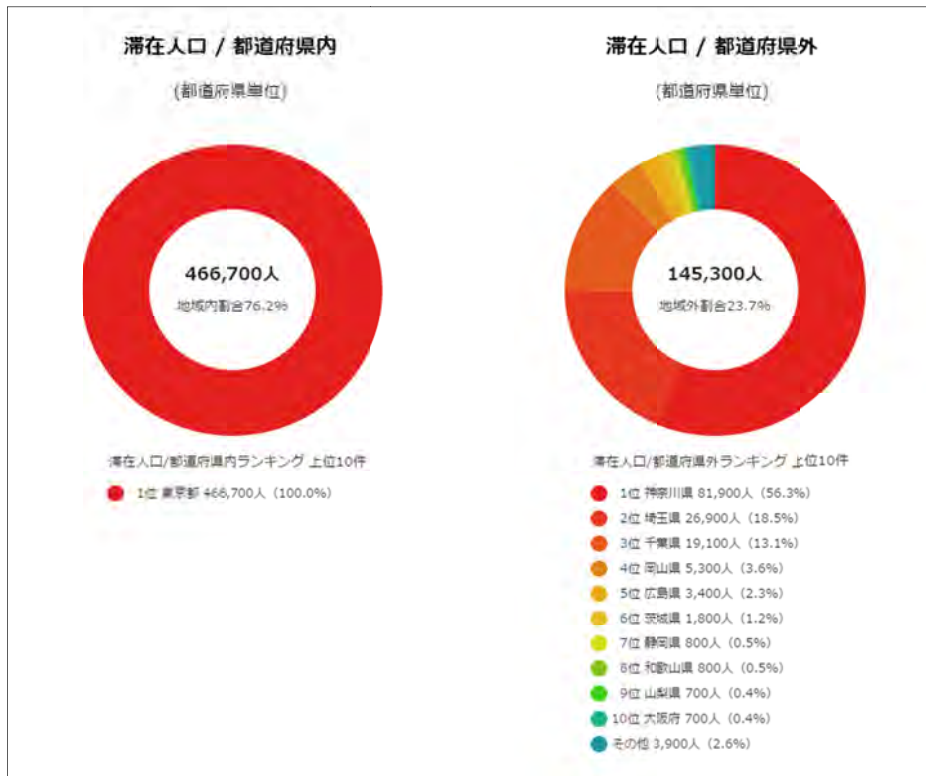
図表 26 目黒区内滞在人口の時間別推移¹⁸



なお、「首都直下地震等における東京の被害想定」において、被害想定
 の条件とされる平日18時台の滞在人口は292,400人である。

1日を通じての滞在者数（出身地別）は、以下のとおりである。

図表 27 出身地別滞在人口¹⁸



図表 28 目黒区内における滞在人口の内訳

	在 住 地				
	都道府県内	都道府県外			
	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他 (東京都市圏外)
滞在人口	466,700人	81,900人	26,900人	19,100人	17,400人
計	466,700人	145,300人			
合計	612,000人 (1日延べ人数)				
東京都市圏外出身者が占める割合：17,400人／612,000人＝約2.84314%					

以上により、平日8時台、目黒区内における東京都市圏外からの流入者数は、以下のとおりである。

$$328,300人 \times 2.84314\% = 9,334人$$

目黒駅周辺に滞在する人の割合は、前項の目黒区全体に占める目黒駅周辺地域の流入者数の割合（約4.9340%）を用いると461人となる。

2. 現況および課題の把握

d. まとめ

目黒駅周辺地域における滞在人口の特性について、以下のとおり整理した。

【昼間人口、夜間人口の比較】

- ・昼間人口：43,032人（対象地域内）
- ・夜間人口：23,770人（対象地域内）
 - ⇒昼間人口は、駅北側の上大崎2丁目が最も多い。
 - ⇒夜間人口は、町丁目ごとにばらつきが見られ、特に、上大崎4丁目や下目黒1丁目では、昼間人口との差が大きい。
 - ⇒避難所は区民を対象としており、夜間人口をベースに計画が設定されている。
 - ⇒夜間より日中に発災した場合、多くの滞留者や帰宅困難者が行き場を失うことが想定されるため、昼間人口が集中する駅周辺での対策が特に必要と考えられる。

【従業人口の分布】

- ・従業人口：29,066人（対象地域内）
 - ⇒駅北側の上大崎2丁目、駅西側の下目黒1丁目に従業人口が集中している。
 - ⇒これらの従業人口が滞留者、帰宅困難者とならないよう、事業所による自助および共助の取り組みが求められる。

【来訪者数の推計】

- ・東京都市圏内からの流入者数：約10,506人（対象地域内、推計）
- ・東京都市圏外からの流入者数：約2,005人（対象地域内、推計）
 - ⇒東京都市圏内の流入者数は、品川区全体の約5.7%、目黒区分は目黒区全体の約4.9%と推計された。
 - ⇒駅出口のある品川区側で滞留者が多く発生することが予想される。